

平成28年度 第6回 岐阜県立多治見病院倫理委員会議事録

開催日時	平成28年10月6日(木) 16時00分 から 17時00分
開催場所	西病棟2階 小会議室3
出席者	伊藤 淳樹、石垣 智康、和田 耕三、青木 真一郎、高田 知二、東 智美、堀内 正、小木曾 俊一、安江 明範
欠席者	松葉 英之、大野 元嗣、川村 知子
出席状況 (参加者数/定数)	9名 / 12名

議 事

1 審査事項

- ・受付番号：2016-17

『呼吸同期照射において呼吸波形が線量分布に及ぼす影響の評価』

(説明者：中央放射線部 鎌田茂義)

《審査結果》条件付承認

(意見) どのような症例が対象か。

(回答) 肺がん症例を対象とする。

(意見) 患者の特定は可能か。

(回答) 個人を特定することはできない。

(意見) 名大での審査は行われていないのか。

(回答) 各地での承認後、名大で審査が行われる。

(意見) 名大の学生のための研究か。

(回答) 共同研究として行う。

(意見) オプトアウトについて考慮いただきたい。患者が、自己の症例は使ってほしくない判断する可能性もある。

(意見) 実施希望日については、具体的にどのような予定か。

(回答) 過去データから抽出し、物理的実験を実施する日を実施希望日としている。

(意見) 患者のデータは何を用いるか。

(回答) 実施計画と波形データのみを用いる。20例ほどのパターンを見て抽出する。

(意見) 咳等、呼吸器に異常があれば波形が乱れるのではないか。

(回答) 咳は除外する。

(意見) 患者データでなくても波形データであればボランティアでも可能か。

(回答) 可能。

- ・倫理的には、侵襲や介入がなく、個人特定の可能性もないため承認できる。

- ・オプトアウトについて考慮していただきたい。

- ・患者の抽出期間を限定したほうが良い。

- ・受付番号：2016-19

『緩和ケア病棟における転倒転落予防の試み』

(申請者：中8階 遠山アズミ)

《審査結果》承認

(意見) 看護師に調査依頼し、どのように調査するのか。

(回答) 看護師から許可を得られたら、インタビュー内容をICレコーダーに録音する。看護師の考えていることと、行動の傾向を調査する。

(意見) 目的は何か。

(回答) 患者の安全の保障を考えた緩和ケア病棟独自の転倒転落予防に向けた対策を明らかにすることにある。

(意見) 研究責任機関は当院か。

(回答) 岐阜県立看護大学である。

(意見) インタビューでは特定の患者についての話題が出てくるか。

(回答) 特定の患者についての話題は出さない。インシデント発生時の状況、発言の内容、行動を記

録する。

(意見) インタビュアーは1人か。

(回答) 緩和ケア病棟に勤務していない看護師と、がん性疼痛看護認定看護師の2名である。

(意見) 研究対象となる看護師とインタビュアーとの人選に注意していただきたい。

(意見) 認定看護師への教育訓練は行っているか。

(回答) 相談対応も行っており、がんにも詳しい。

・承認とする。

2 変更申請

・受付番号：2016-18

『Stage I 胃癌に対する胃全摘術におけるアプローチ別のQOL評価』

(申請者：外科 奥村徳夫)

《審査結果》承認

・日本語の表現がわかりにくかったため、表現を補足するための変更申請。

・承認とする。

次回開催 平成28年11月10日(木) 16時から予定